

■ 高取町立学校給食センター用地の『昔』



森ヲチヲサ遺跡

高取町立学校給食センター建設に伴い、発掘調査を実施しました。

調査の結果、大壁建物3棟以上を検出しました。大壁建物は周囲に四角い溝を掘り、溝内に柱を建て並べ柱ごと土等で埋め込み、分厚い壁を構築する建物で、古墳時代中期の5世紀に百済や伽耶地域から渡来人と共に日本に伝わりました。現在で言うと土蔵のような造りの建物で復元模型を歴史研修センターに展示しています。森ヲチヲサ遺跡の大壁建物①は正方形で1辺は13.5mです。建物は幅50cm、現状の深さ30cmの箱型の溝内に、直径20cmを測る円形の柱穴痕跡が並んで検出しました。実際に壁や柱は見つかりませんでしたが、壁溝を断割ると時間が経ち、朽ちて腐り土になった痕跡を検出しました。大壁建物の東辺に約2mの壁が途切れた所があり、その部分は建物の出入口かも知れません。

また、出土した土器は須恵器の器台と土師器の高杯・甕・鉢・製塩土器などがあり、壁溝から滑石製勾玉、建物包含層から鉄鏃が出土しました。大壁建物は2棟以上重複しており、大壁建物は出土遺物から3棟で最後の5世紀中ごろに建てられたと考えられています。

大壁建物①の内部に11個の大型柱穴を検出し、柱穴の掘形は直径60～70cmを測り円形を呈しています。柱の痕跡は断面観察から約20cmと考えられます。1辺が10mを超えるような建物の屋根を支える柱穴は3間×2間(東西10m南北8m)の規模をもちます。

大壁建物①からオンドル(床下暖房)を検出しました。オンドルは床下に有り、下層を断割らないと確認できませんが、床の残りが悪く遺構検出時に炭が混入した粘質土が溝状に堆積したことから煙道と仮定して、溝を追跡し煙出しと焚口を確認しました。オンドルの焚口は大壁建物①の北東に高温でオレンジ色に変色した土壌と炭化材と炭層が見つかり、そこから弓状の屈曲した約10mの煙道の端、大壁建物①の東側に深く掘られた円形土壌と土壌北側の炭層堆積から煙出しと判断しました。全国的にも検出例はほとんどなく、高取町では清水谷遺跡・観音寺遺跡・森カシ谷遺跡の大壁建物に伴い、他は滋賀県大津市の穴太遺跡でしか確認されていない希有の遺構で、大変貴重なものです。

『森ヲチヲサ遺跡』発掘の一部



オンドル遺構

大壁建物①



案内図

施設の概要

■ 施設名	高取町立学校給食センター
■ 住所	奈良県高市郡高取町大字森13番地1
■ 建築構造	鉄骨造平屋建て
■ 敷地面積	1,894.17㎡
■ 延床面積	611.89㎡ 付属棟含む
■ 建築面積	635.23㎡ 付属棟含む
■ 竣工	平成29年7月31日
■ 供用開始	平成29年9月4日
■ 調理能力	700食/日(実調理食数 700食/日)

*実施校園数：幼稚園2園・小学校1校・中学校1校

■ 調理方式	オール電化/フルドライシステム
■ 設計・工事監理	株式会社 かんこう
■ 工事施工業者	ヒロタ建設 株式会社
■ 厨房施工業者	株式会社 中西製作所

お問い合わせ先



高取町立学校給食センター

〒635-0132 奈良県高市郡高取町大字森13番地1

TEL / 0744-52-3398 FAX / 0744-52-3398